

「計画」

仰木小学校

令和8年度 我が校の学ぶ力向上策

【県目標】第Ⅲ期学ぶ力向上滋養プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学ぶ力を高める。

【令和8年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身につける指導の推進

【市町の目標】

○第4期大津市教育振興基本計画

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

【学校の目標】

○「愛郷雄飛」 ふるさと仰木を誇りとし、心豊かでたくましく、自ら進んで考え、実践する子どもの育成

【現状と課題】

- 視点1 学習に一生懸命取り組んでいるが、問題意識を持って取り組めていない。
 - (1) 子どもたちが課題を自分ごととして捉えられていない。
 - (2) ICTの活用は多くの教員が学級で取り入れており活用頻度も高いが、児童の活用頻度は教員に比べて低い。
- 視点2 互いを認め合う支持的な学級づくり・学校づくりができているが、学習の中でその個性を活かしきれていない。
- 視点3 小規模校であるため、全職員で情報交換ができる。単級で一人あたりの校務も多いので、授業づくりに十分な時間が取りにくい。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」**肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①子どもたちが問題意識をもって学習に取り組めるよう、授業の工夫や教室環境を整えることに努める。	①学びのアンケート(全児童)結果の分析(目標数値「勉強が楽しい」肯定的な回答80%以上)
②児童によるICT活用が増えるよう、学習で効果的に取り入れる。	②学びのアンケート(全児童)ICTの活用(目標数値90%以上)

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①互いを認め合える支持的な学級・学校づくりに努める。	①保護者アンケート結果の分析(目標数値「子どもが楽しんで学校に通っている」肯定的な回答90%以上)

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①ICTの効果的活用や合同授業・交換授業など、それぞれの教員の専門性を活かす。	①学校評価結果の分析(目標数値「指導評価」B→A)

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・5月の職員会議において、「学ぶ力向上策」について説明するとともに、各取組事項の具体的内容について協議する。また、取組事項については学校だよりを通じて保護者や地域に発信する。
- ・職員全員で取り組む具体的内容について共通理解を図り、視点1・2については、研究主任が中心となる。また、視点3についてはOJT主任、ICT主任、研究主任、管理職が連携し、組織的な実践につなげる。
- ・職員会議では取組状況等を共有し、学校評価、全国学力・学習状況調査、校内「学びのアンケート」、保護者アンケート等を基に、改善策を夏季休業中にまとめる。これを9月の職員会議で全体共有し、後半の取組へとつなげる。また、各取組事項に対する中間評価の結果についても、学校だよりを通じて保護者や地域に発信する。